



高橋しげ子 (たかはし しげこ)

京都市出身。京都放送劇団「波」、京都俳優養成塾(現：ドラマ劇場)、劇団「テアトロ・トフレ」を経て結婚のため札幌へ。北海道放送専属劇団へ入団、ラジオ・テレビに出演。その後上京。10年後再び札幌へ。朗読活動を始め。「紫の会」代表。朗読ぐるーぷ「声の本棚」主宰。新鷹会(東京)会員。高橋はるのペンネームでエッセイ執筆。

2001年 北海道テレビ放送「北に人あり」に生出演
「現代京ことばによる源氏物語」について語る

2002年 UHB大学一般教育講座で(道新ホール)
「現代京ことばによる源氏物語」より『葵』を朗読

2008年 道新文化センター主催一日講座にて『夕顔』を朗読(札幌・旭川)

2008年 時計台建設130周年特別企画にて『葵』を朗読(時計台ホール)

2008年 NHK(東京)教育テレビ"ETV特集"「私の源氏物語」出演

2009年 HBCラジオ番組「多恵子の今夜もふたり言」ゲスト出演
「現代京ことばによる源氏物語」についてトークと『若紫』を朗読

2010年 東大阪ライオネスクラブ合同例会に於いて
「現代京ことばによる源氏物語」より『葵』を朗読

2010年 紫のかをり～古典への誘い～「紫の会」公演(渡辺淳一文学館地下ホール)
「現代京ことばによる源氏物語」より『末摘花』を朗読

その他、朗読活動多数



佐藤 洋一 (さとう よういち)

1987年ドイツ・アーヘン音楽大学ギター演奏科を卒業。帰国後は独奏やアンサンブルなどの演奏活動の他、レッスンなど後進指導。91年より平佐修氏と「あこるとデュオ・さっぽろ」を結成、CDを2枚リリース。札幌市こども人形劇場こぐま座プロデュースに人形劇制作で8つの作品、江別市民ミュージカル「この夏の自由研究」などで作曲、音楽制作を担当。ギターを鈴木巖氏、佐々木忠氏、ホセリス・ゴレザレス氏などに師事。



近藤 文子 (こんどう あやこ)

札幌市を拠点とし自主公演を中心に活動。クラシックバレエの基本を軸に独自の身体表現を模索し、しなやかさと優しさを大切に、生きている美しさを追求中。ちえりあと豊平若者活動センターのバレエ講師。

2009年 国際舞踊中野コンクールにて『N・ピュア賞』

2012年 現代舞踊協会新人公演(東京：全労済ホール)
F. ショパン「ピアノソナタ第3番」を発表